

# WinDMM for AD5518/T

## Ver.1.00

Windows デジタルマルチメータ用データ通信ソフトウェア

For Windows 95/98/Me/2000/XP

Copyright ©2004 A&D Company Limited

### 取扱説明書

WM+PD4000821

#### 注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2004 株式会社エー・アンド・デイ All rights reserved.

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

---

## 目次

---

<a href="#">概要</a>	<a href="#">3</a>
<a href="#">使用許諾契約</a>	<a href="#">3</a>
<a href="#">準備するもの</a>	<a href="#">4</a>
<a href="#">通信準備</a>	<a href="#">5</a>
<a href="#">コンピュータとの接続方法</a>	<a href="#">5</a>
<a href="#">「WinDMM」の取扱説明</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">はじめに</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">「WinDMM」の特徴</a>	<a href="#">6</a>
<a href="#">「WinDMM」の各部説明</a>	<a href="#">7</a>
<a href="#">グラフ</a>	<a href="#">8</a>
<a href="#">データ</a>	<a href="#">9</a>
<a href="#">「WinDMM」の操作</a>	<a href="#">10</a>
<a href="#">「WinDMM」の実行</a>	<a href="#">11</a>
<a href="#">その他</a>	<a href="#">12</a>

---

## 概要

---

本ソフトウェア「WinDMM」とは、エー・アンド・デイ製通信機能付きデジタルマルチメータ(AD-5518X)の計測データを転送する「Windows データ通信ソフトウェア」です。

**注意:**「WinDMM」セットアップの前に、万が一に備えてコンピュータの重要なデータをバックアップしておいてください。

: コンピュータ本体や「WinDMM」以外のソフトウェアについては、各メーカーにお問い合わせください。

---

## 使用許諾契約

---

- 「WinDMM」を弊社に無断で複製することは禁じます。
- 「WinDMM」は予告なく仕様を変更することがあります。
- 「WinDMM」の著作権は、(株)エー・アンド・デイにあります。
- 「WinDMM」はエー・アンド・デイ製通信機能付きデジタルマルチメータ(AD-5518X)からコンピュータへのデータ転送に使用します。その他の目的では使用しないでください。
- 「WinDMM」は、通信機能付きデジタルマルチメータ(AD-5518X)と接続するコンピュータのハードディスクまたはその他記憶装置に限りインストールして使用できます。
- (株)エー・アンド・デイは「WinDMM」または「Readme」の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

Microsoft Windows/Excel/Word は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または、商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript および PostScript ロゴは、アドビシステム社の米国および/または各国での商標または登録商標です。

2004年2月

(株)エー・アンド・デイ

---

## 準備するもの

---

### □ AD-5518X 本体

### □ コンピュータ

OS	:	Microsoft Windows95/98/Me/2000/XP (日本語版)
CPU	:	Pentium 以上の CPU 搭載の機種を推奨。
RAM	:	8MB 以上のメモリを推奨。
ハードディスク	:	8MB 以上の空きが必要。
CRT	:	解像度 640 × 480 以上のディスプレイを推奨。
RS - 232C	:	DSUB 9P COM ポート
サウンド出力	:	O.L.時に、警告音を鳴動させる場合に必要。
その他	:	ローカルまたはネットワーク CD-ROM にアクセスが可能なこと。 シリアルポートに空きがあること。 マウスまたはそれに代わるポインティングデバイスが使用可能なこと。

### □ ケーブル

専用通信ケーブル (RS-232C シリアルケーブル 赤外線絶縁タイプ)

---

## 通信準備

---

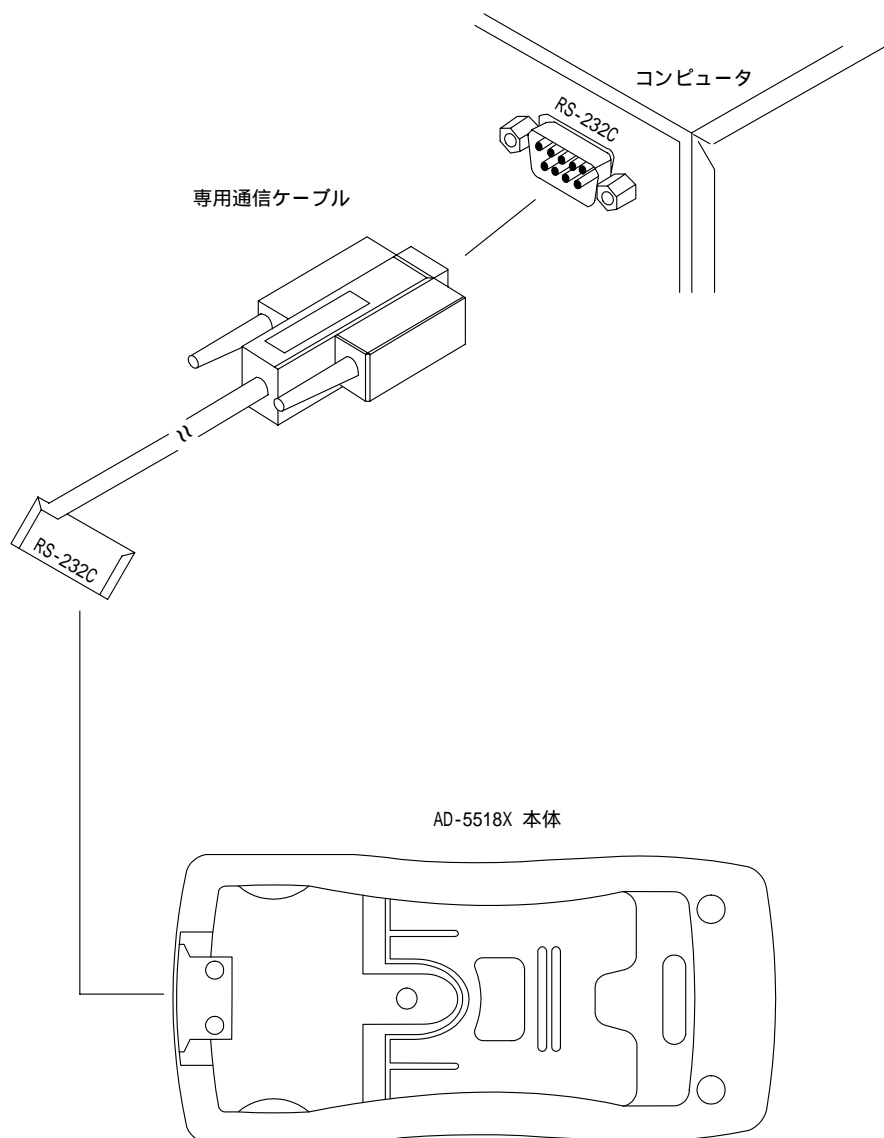
### □ コンピュータとの接続方法

AD-5518X 本体とコンピュータとを接続します。

手順 1 : コンピュータ側の COM ポートに専用通信ケーブルを接続します。

(ポートの選択例 : COM1)

手順 2 : AD-5518X 本体と専用通信ケーブルを接続します。



通信ケーブル接続図

---

## 「WinDMM」の取扱説明

---

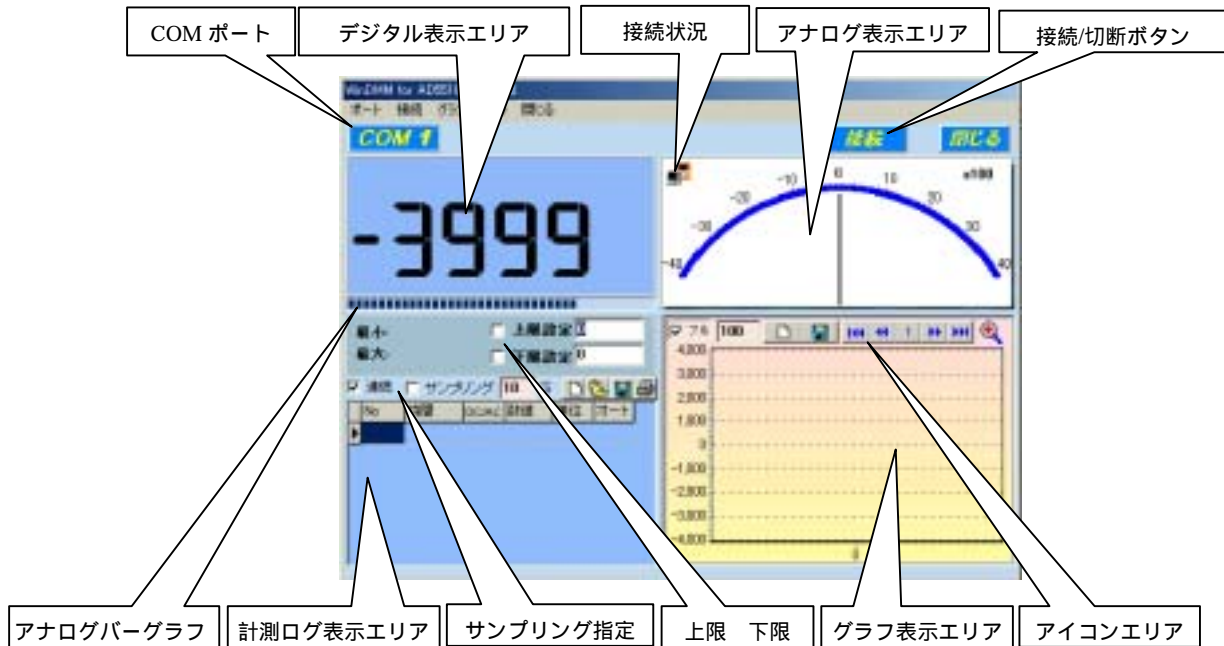
### □ はじめに

本ソフトウェア（「WinDMM」Ver.1.00）はシリアルポートを介し、AD-5518X 本体とコンピュータとの通信を行うことができます。また、AD-5518X 本体からのデータをコンピュータに取り込むことができます。


### □ 「WinDMM」の特徴

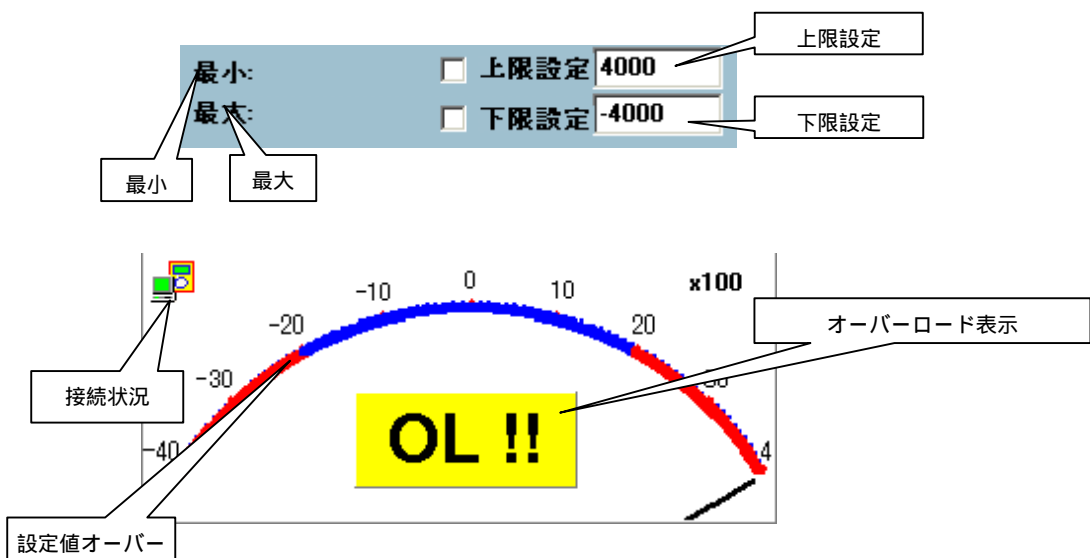
- 「WinDMM」は、AD-5518X 本体で計測された電圧・抵抗・容量・周波数・電流・ダイオードチェック・導通のデータをコンピュータ側に転送・表示・保存を行うためのソフトウェアです。
- 計測されたデータは、デジタル表示・アナログ表示・グラフ表示・ログ表示を同時に行います。
- 計測されたデータのログ表示を直接プリントアウトできます。

## □ 「WinDMM」の各部説明



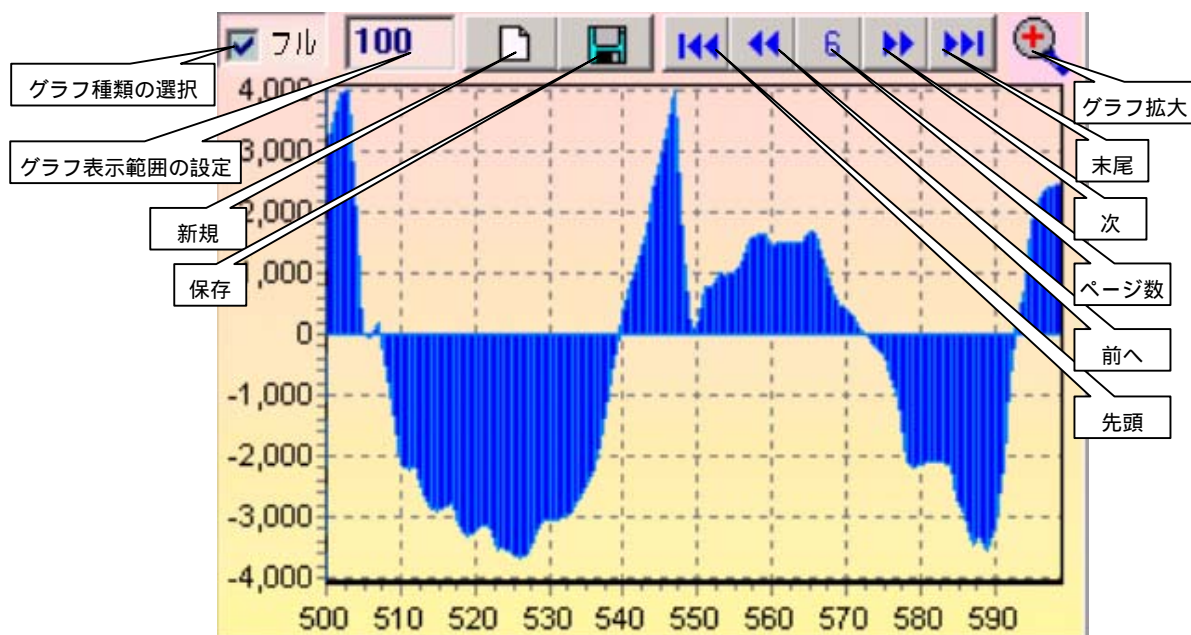
**注意：**画面の大きさを変えないでください。正しく表示されません。  
数字はDMMの表示部と同じものです。

- [最小] : 現在の測定レンジでの最小値を表示します。DMMのレンジ(機能)を切り替えるとリセットされます。
- [最大] : 現在の測定レンジでの最大値を表示します。DMMのレンジ(機能)を切り替えるとリセットされます。
- [上限設定] : 「上限設定」のチェックボックスをチェックすると、測定範囲の上限設定が有効になります。値は、整数を入力します。設定値を超えるまで動作をします。
- [下限設定] : 「下限設定」のチェックボックスをチェックすると、測定範囲の下限設定が有効になります。値は、整数を入力します。設定値を下回るまで動作をします。
- [接続状況] : 接続をしている間は、このアイコン  が点滅します。
- [OL!!] : 上限設定あるいは下限設定を超えるとオーバーロードになります。コンピュータにサウンドスピーカをインストールしていれば警告音が鳴ります。



## グラフ

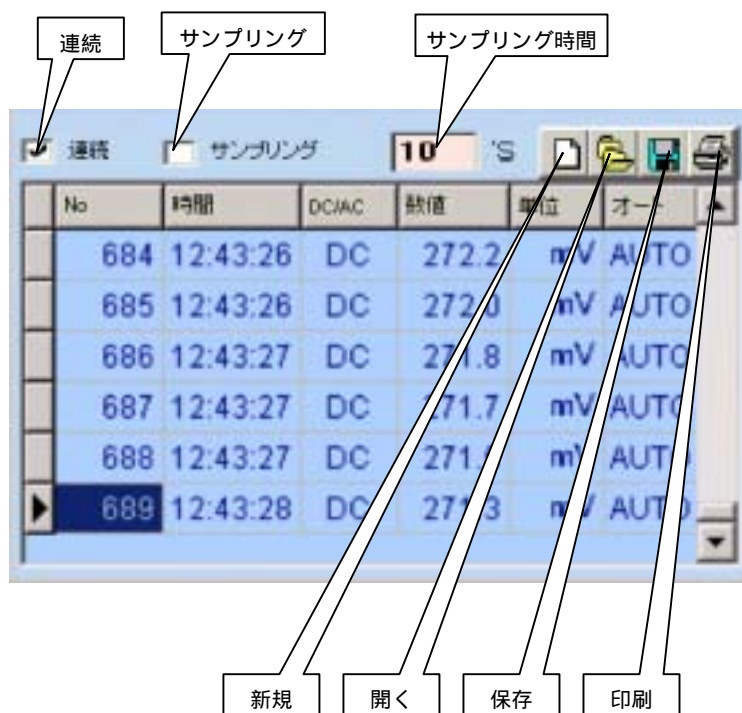
- [グラフ種類の選択] : グラフの種類を選択する。「フル」のチェックボックスをチェックすると、フルアップグラフ表示になります。チェックを外すと、折れ線グラフ表示になります。
- [グラフ表示範囲の設定] : 1 ページに表示されるデータ数を指定します。
- [新規] : すべての記録されたデータを消去します。
- [保存] : グラフを BMP 形式で保存します。ファイル名は “ databmp.bmp ” で、C ドライブに格納されます。
- [先頭] : グラフの先頭に移動します。
- [前へ] : ひとつ前のグラフに移動します。
- [ページ数] : 現在表示しているページ数を示します
- [次] : ひとつ後のグラフに移動します。
- [末尾] : グラフの末尾に移動します。
- [グラフ拡大] : グラフを拡大表示します。
- 拡大 : グラフ上で左クリックし、左から右にドラッグします。
- 元に戻す : グラフ上で左クリックし、右から左にドラッグします。
- スクロール : グラフ上で右ドラッグをします。





## データ

- [連続] : 「連続」のチェックボックスをチェックすると、計測値に変化があった場合にデータを記録します。また、データを連続で記録したい場合は、チェックを外します。
- [サンプリング時間] : サンプリング周期の時間を設定します。
- [サンプリング] : 「サンプリング」のチェックボックスをチェックすると、設定された時間でサンプリングをします。チェックを外すと「連続」の設定でサンプリングを行います。  
「連続」と「サンプリング」両方をチェックした場合は、両方の機能が有効となります。
- [新規] : 全てのデータを消去し、新しいファイルを開きます。
- [開く] : 既存のファイルを読み込みます。
- [保存] : すべてのデータを保存します。ファイル形式は、「Excel」「Text」「Database」から選択できます。ファイルの格納先は、保存時に指定できます。
- [印刷] : 印刷プレビュー画面を表示し、印刷条件を設定します。



- 注意** : データ測定中に印刷をしないでください。正しく印刷されない場合があります。
- : データ保存時および印刷時に「 」と「 」の単位が正しく表示できない場合があります。
  - : 「連続」または「サンプリング」の設定に関係なくデジタル表示・アナログ表示・グラフ表示は更新されます。
  - : 「連続」の設定でチェックを入れない場合のデータ取り込み速度は、使用するコンピュータの性能によって変化します。

## □ 「WinDMM」の操作

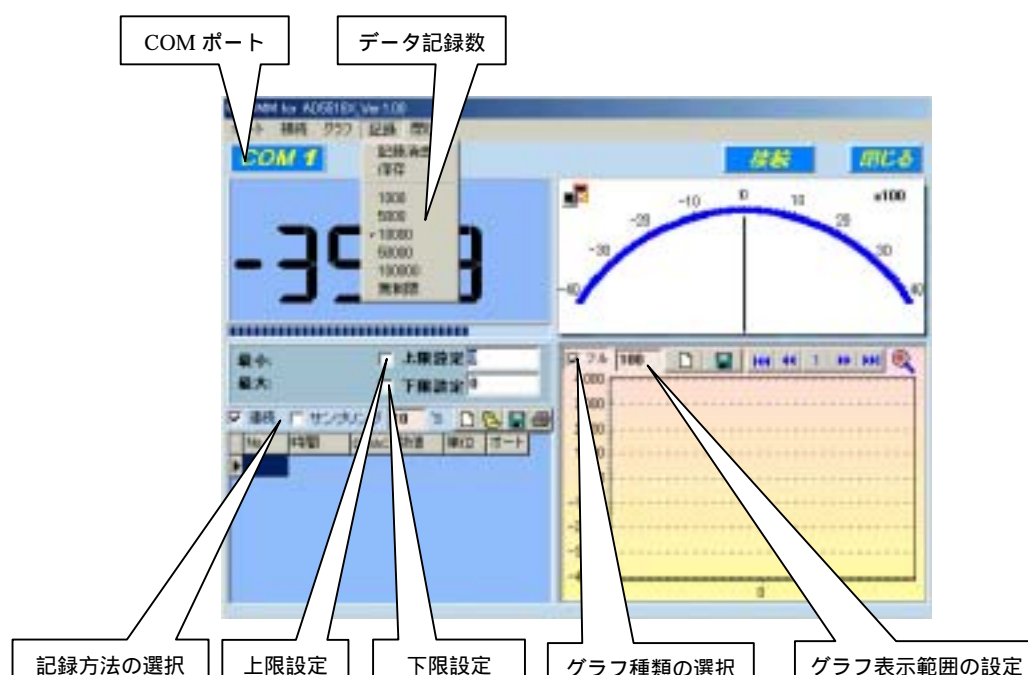
**注意:** コンピュータの COM ポートと AD-5518X 本体が専用通信ケーブルで接続されていることを確認してください。接続方法の詳細は、「コンピュータとの接続方法」を参照してください。

### 手順 1 : 「WinDMM」の起動

デスクトップ上の「WinDMM」アイコンをダブルクリックするか、または「スタート」 「プログラム」 「DMM AD5518」 「WinDMM for AD5518X\_Ver. 1.00」をクリックします。

### 手順 2 : 「WinDMM」の通信情報の設定

- [COM ポート] : コンピュータの接続ポートを設定します。COM のアイコンをクリックし、対応する COM 1/2/3/4 を選択します。
- [上限設定] : 「上限設定」のチェックボックスをチェックすると上限設定が有効になります。値は、整数を入力します。設定値を超えるまで動作をします。
- [下限設定] : 「下限設定」のチェックボックスをチェックすると下限設定が有効になります。値は、整数を入力します。設定値を下回るまで動作をします。
- [記録方法の選択] : 「連続」のチェックボックスをチェックすると、計測値に変化があった場合にデータを記録します。また、データを連続で記録したい場合は、チェックを外します。サンプリング時間を設定する場合は「サンプリング」のチェックボックスをチェックし、設定時間を入力します。チェックボックスのチェックを外すと連続でサンプリングを行います。「連続」と「サンプリング」の両方をチェックした場合は、両方の機能が有効となります。
- [データ記録数] : お使いのコンピュータの CPU に合わせてデータ数を設定します。  
Pentium 以下 : 5000 ~ 50000 データ  
Pentium2 以上 : 50000 データ以上  
設定方法は、「メニューバー」 - 「記録」を選択します。
- [グラフ種類の選択] : 「フル」のチェックボックスをチェックすると、フルアップグラフ表示になります。チェックを外すと、折れ線グラフ表示になります。
- [グラフ表示範囲の設定] : グラフの表示範囲を入力します。




## □ 「WinDMM」の実行

**注意:** コンピュータの COM ポートと AD-5518X 本体が専用通信ケーブルで接続されていることを確認してください。(「コンピュータとの接続方法」を参照)

また、AD-5518X 本体の電源が入っていることを確認してください。

- 計測の開始

計測ウィンドウの右上にある「接続」ボタンを押すと、「通信情報の設定」で記憶された状態で自動的に計測が開始され、 のアイコンが点灯します。

- 計測の中断・停止

計測ウィンドウの右上にある「切断」ボタンを押すと、計測を止めることができます。再び、「接続」ボタンを押すと、計測が開始されます。

- 計測の終了

計測が停止している状態で、右上にある「閉じる」ボタンまたはメニューバーの「閉じる」を押してください。

**注意:** この時、保存されていないデータは消去されます。必要なデータは、必ず保存してから上記の操作をしてください。



---

## その他

---

- メータからの現在の正確な値を表示することを目的としたソフトウェアです。データ・ホールド状態であるとき、データは記録されません。
- 改良のため予告なしに変更する場合があります。  
ソフトのバージョンアップは、弊社のウェブサイト<http://www.aandd.co.jp/adhome/> から最新バージョンをダウンロードしてください。

=====

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3 丁目 23 番 14 号

TEL.03-5391-6126 FAX.03-5391-6129

<http://www.aandd.co.jp/adhome/>